

平成20年度 鈴鹿市立長太幼稚園研修計画

研究主題	さまざまな人との出会いを通した豊かな心の育成
領域	全 領 域

1 主題設定の理由

幼児には、現代社会の変化に柔軟に対応する力が求められ、教育の中でさまざまな人々とかわっていくための資質・能力を育てることは大きな課題になっている。

当園幼児も、身近なことに興味や関心をもち、それにかかわって遊ぼうとするが、自分中心で物事を考えたり、自分の思いを相手に伝えられなかったり、一度つまづいたりすると、どう解決していけばよいか戸惑ったり、不安を感じたりする姿がみられる。

日々の生活の中で、さまざまな人々とかわり、五感を通した直接体験をすることによって葛藤や挫折感とともに、充実感や満足感を味わい、自己発揮する力を育んでいきたい。その中で一人一人の幼児が自分の居場所を見つけ、また互いを認め合い尊重しあう、豊かな心の育成をしていきたいと考え、主題を設定した。

2 子どもにつけたい力

- ・ 人とかかわり、表現する力
- ・ 命の尊さを知り、自他と共に大切にする力
- ・ 互いを認め合い、助け合える力
- ・ 豊かな心をもち、たくましく生きる力

3 本年度の指導の重点

- ・ 温かい人間関係や共に育ち合える仲間づくりに努める。
- ・ 豊かな心を育んだり、道徳性の芽生えを培うように努める。
- ・ さまざまな人々とかわる力を培うように努める。
- ・ 心豊かにたくましく生きる力を培うように努める。

4 具体的な方策

- ・ 教師と幼児の信頼関係を築き、幼児の心の安定を図る。
- ・ 日常生活の中で、さまざまに感情体験や感動体験を共有し、素直な感情が出せるような雰囲気づくりに努める。
- ・ 小学生と交流したり、外国の人々・未就園児や地域の人々と触れ合う場を設けるように努める。
- ・ 幼児の具体的な姿を話し合う中で、教師間の共通理解を図る。
- ・ 保護者との連携を密にし、幼児理解に努める。